

研究課題番号	2MF-2302
研究課題名	水質・底質の健全化に資する底生動物の機能評価と彼らの減少がもたらすリスクの推定
研究実施期間	令和5年度～令和7年度
研究機関名	滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
研究代表者名	永田 貴丸

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

湖沼の浮遊系・底生系を連結する水・堆積物間の物質循環において、底生生物の果たす役割は重要であるが、定量的に評価することができていないため、栄養塩循環への底生動物の寄与を評価する実験は極めて重要である。本研究により底生動物の栄養塩循環への寄与や、それら生物の減少が琵琶湖生態系に及ぼすリスクの推定が可能となることが期待できる。また、安定同位体の ^{15}N デオキシアデノシンを使用した湖沼における底泥の細菌生産量と有機物分解速度を測定する手法を世界に先駆けて確立するなど、順調に成果が得られている。今後、種類による摂食・排泄速度の違いについての考察を進めるとともに、成層化する湖水への対応策として、水温成層以浅の沿岸帯での底生動物の保全はどのように行うのか、具体的な施策やコストを示してほしい。